

2017年度科教協ヒロシマサークル総会（案）

1. 2017年度年間活動報告（2017年9月～2018年8月）

| 月 | 人数 | 場所 | 内容 |
|----|-------------|---------------|--|
| 9 | 8 | なぎさ中高 | 夏の報告 中高周辺の海のプランクトン（星野）・碑巡りを巡って(脇田) コンピューターは考える（山口克） 子どもの科学研究につきあってみて（堀内） 全国大会反省 |
| 10 | 13 | 観音中 | 授業実践 ○中1「身近な物質」(田中) 実験 アンモニア実験 夏の報告 全国大会物理分科会の話（浜崎）・豆腐よう（木本） 隠岐の島の自然と文化と白山（山口俊） 実験観察 豚の気管と食道の干物・鶏の脳の干物(山口克) 総会 |
| 11 | 2 10 | 仁川 観音中 | 仁川科学の祭典（山口克・木本） （変身キューブ ・回転舞踏会） 授業実践 ○高2「酸化還元」（森） 夏の報告 大川小学校のその後（塚本）上蒲刈島植生調査（原田） 豆腐ようを食べる(木本) 実験観察工作 典型的な全反射教材を用いて使い方と発問で主体的対話的 深い学びへ(角島) 音反動車（田中）豚の膀胱標本・摩擦電気教材(山口克) 報告 仁川科学の祭典（山口克・木本） |
| 12 | 9 | 観音中 | 授業実践 ○「中3 仕事の原理の実験について」（松本） ○「情緒学級の磁石学習の実験」（木本） ○院内学級「振り子のエネルギー保存」（浜崎） 観察実験工作 P波S波モデル実験（田中） |

| | | | |
|---|---------------|--------------------------|--|
| | | | <p>中国大会井原（計 19 人参加）</p> <p>参加 田中・木本・浜崎</p> <p>広島から 3 本のレポ 科学お楽しみ広場 2</p> |
| 1 | 3 5 1 5 | 岡山美星町天文台 江田島 なぎさ中高 | <p>合宿（鷺部公民館・民宿飛渡瀬）</p> <p>参加者 山口克・塚本・塚本・田中・木本</p> <p>柳川水産の方からのお話・カキ養殖について・カキの生態・カキの解剖</p> <p>授業実践</p> <p>○中1 「話し合いを重視した理科授業の組み立てについて」（佐々木）</p> <p>○小障害「大豆から豆腐へ」（宇根）</p> <p>観察実験工作</p> <p>変身キューブ（山口克）</p> <p>モダマ・アルソミトラ（木本）</p> <p>どこから見てもバッティングマシーン・発泡ビーズ入バルーン・バイメタルきつつき・ジャイロ効果・原子模型（土肥）</p> <p>報告</p> <p>中国大会・合宿（木本）・四国大会（山口克）</p> <p>目黒寄生虫館（田中）</p> <p>県教研市教研 レポ9本 サークル員10人</p> |
| 2 | 1 2 1 5 | 尾長小 観音中 | <p>授業実践</p> <p>○高校 手作り教材で教員を楽しむ「エリーゼのためのギターで春を呼びまっせ」（土肥）</p> <p>○中 カキの教材化（木本）</p> <p>観察実験工作</p> <p>「ギターづくりと静電気」（土肥）</p> <p>カキの解剖（木本・田中）・パスカル電線の実験（田中）</p> <p>タカラトミーの「リニアモーターカー」のおもちゃ紹介（岡馬）</p> <p>報告</p> <p>「パスカル電線等 ファラデーラボ」（田中）</p> <p>合宿 カキについて（田中）</p> |
| 3 | 1 0 | 観音中 | <p>授業実践</p> <p>○中学校で電圧をどう教えたか（塚本）</p> <p>○新年度「理科の授業をどう始めるか？」</p> <p>中1教科ガイダンス（なぎさ中）・中「変な先生?!でいこう!」（山口克）・植物観察だ（田中）高「生物とは何か?」（原田）</p> |

| | | | |
|---|-----|-------------------|--|
| | | | <p>・中「前にいる人はフツーじゃない」(塚本)</p> <p>実験工作</p> <p>「コロナとスーパーボール」スーパーボール作ります(山口克)</p> |
| 4 | 1 2 | なぎさ中高 | <p>授業実践</p> <p>○「高校生物基礎 疾患から恒常性を考える～生物の体内環境の維持～」(星野)</p> <p>○理科水中の微生物(田中)</p> <p>実験工作</p> <p>磁石を使ったおもちゃ「追いかけてっこ」づくり(木本)</p> <p>ミジンコの紹介と配布(田中)</p> <p>顕微鏡で見るスケール(塚本)</p> <p>報告</p> <p>真昼に見えた春の三日月(山口俊)</p> <p>高校新学習指導要領検討会報告(角島)</p> |
| 5 | 1 2 | 観音中 | <p>授業実践</p> <p>○中2 天気学習(木本)</p> <p>○中3 遺伝学習(山口克)</p> <p>実験工作</p> <p>ソーラーバルーンづくり(木本)</p> <p>クントの実験紹介(田中)</p> |
| 6 | 1 1 | 広島工業大学 | <p>授業実践</p> <p>○中2 化学変化と質量の関係(堀内)</p> <p>実験工作</p> <p>センサーに関する諸々&Labquest Streamの使い方と実例体験(角島)</p> <p>ベクトル(力)の合成と分解(土肥)</p> <p>クントの実験道具作り(田中)</p> <p>報告</p> <p>平成30年度、広島県公立高等学校選抜問題分析(浜崎)</p> |
| 7 | 1 1 | 観音中 五日市公民館 | <p>授業実践</p> <p>○中3 電池学習(松本)</p> <p>実験工作</p> <p>光硬化性プラスチック・ダニエル電池・金属磨き(山口克)</p> <p>科学お楽しみ広場 台風のため中止</p> |
| 8 | | 健大高崎高 | <p>全国研究大会群馬</p> <p>参加 塚本・田中・松本・岡馬・土肥・木本・森</p> |

| | | |
|---|------------------|---|
| 8 | 南観音公民館 子ども39名 | 科学お楽しみ広場 塚本・脇田・山口克・坂本・角島・木本・上川・松本 葉脈標本しおり（松本）・割りばし飛行機（木本） |
|---|------------------|---|

2. 反省総括

①八幡川河口生物調査を05年度～14年度（12年度はなし、14年度は15年9月22日実施 工大高）この調査の積み重ねから八幡川・広島湾の授業案を出すことが大きな課題である。15年度・16年度17年度と3年連続できていない。常に広島・ヒロシマを教材化した授業が実践されることをこれからも望む。

②授業レポートは16年度 21本（04年度から14年連続2桁のレポ）

内訳は障害児4本（小学校1本） 中学校13本 高校4本 森・原田・土肥・星野さんの発表で高校が4本と増えた。小学校では宇根さん、高校では森・原田・土肥・星野・堀内さんの発表を積極的にお願いしたい。新しい仲間への声掛けもお願いしたい。

③観察実験工作の提案は、9月例会以外ではすべてで観察実験工作紹介ができた。23個。来年度も意欲的にお願いしたい。

④例会会場を観音中7回・なぎさ中高3回に固定できた。これは参加者にとって大切なことである。広島工大でも1回行った。

2016年度の例会・合宿・学習会（広場を除く）参加者は128名、03年から15年連続100名を超えた。田中さんの紹介で例会に初めて参加された方がいたが、定着にはつながっていないので何とかしたい。似島学園中の岩田さんにも積極的に声をかけている。例会に新しく参加し、また連続して参加する先生、初めての報告者を大切にしたい。青年教職員のための授業作りということで1年間計画的に提案をした。今後も続けて行きたいが、その時期にあった授業提案が必要かもしれない。

⑤新しく参加された先生が続けて例会に参加する取り組みが必要である。それには魅力ある例会にしていくことである。そのために1つは、理科工作・授業実践の2本立てでやっていくこと。2つ目はわからないことがわからないといえる雰囲気作り。3つ目はわからないことに丁寧に答えること。この3つのことを大切にしていく。さらに身近にいる職場の仲間にも声をかけることも大切である。また、新しい参加者には1年間は連絡を続けていくことも重要である。

5年間でできていないが、青年の発掘として、卒論や修論・その他現在研究していることを提案してもらい、サークルのことを知ってもらおう。近くにそのような仲間がいれば声をかけてほしい。

新採用者への通信発送をやってきた。市中研の最初の会議で新採を確認することが松本さんの協力でできた。中学校の新採には5月からできたが、小学校の新採へは4月から送ることができていない。名簿を作るべきである。組合との確認が必要。

う。

- ②授業レポート検討（障害児者・小学校・中学校・高校すべての学校のレポート発表をめざす）
教研や全国大会等に発表するレポートを意識して提案する。**急なレポート発表大歓迎。その月の第一土曜日までに堀内さんに連絡する。（宣伝のため）**
- ③教材教具の紹介と製作（最低1年間に2回は製作する）
材料は10人分
理科工作担当は材料を準備し製作を行なう。また、担当以外でもおもしろいと思った教材教具があれば、材料を準備し行なっても良い。（費用は事務局に要求）
宣伝するため、その月の第一土曜日までに堀内さんへ連絡する。
- ④例会（第4土 13時～17時 観音中）事務局会（第1水 18時～なぎさ中高）
新採用者や若い先生が参加しやすいように、わかりやすい説明・実験を実際行なってみるなどに心がける。また質問の時間などを設定する。要求があれば、次回の例会にその単元の授業づくり案や実践の発表を計画する。
- ⑤学期1回のイベント（学期という考え方をあえて残す）
1学期 ヒロシマ学習 2学期 秋のイベント（合宿や実験講座等）
ヒロシマ学習とは科教協ヒロシマ独自の研修会。
科教協ヒロシマを知ってもらい取り組みとしての実験講座は要請があったら行なう。
- ⑥通信の定期発行
通信担当が参加できない場合は事務局で対応する。1枚でも継続することが大切。
通信を1年間、新採用者にメール便送る。**通信発行の第1水曜日に間に合わせるために発表者は例会があったその日に通信担当にメールやファイルで原稿を送る。**
- ⑦宣伝活動の確立
ホームページの更新を行なう（例会案内・イベントは必ず）
科教協全国大会・科教協中国大会・ヒロシマ学習会などの宣伝
- ⑧財政の確立（会計年度 9月～8月）
活動には必ず資金がいる。それがあからいろいろな取り組みができ、仲間意識も深まる。まずは会費（2000円）を納入すること。さらには**教材の普及もすること。**
昨年度から支出が大幅に増大しているので収入も増大するようにする。
- ⑨サークルの会員拡大
会費納入を2年間ない場合は会員見直しを考える
新採用者や青年教師に向けての基礎講座を組合とともに開催し、会員拡大をしていく。
職場にいる仲間や知り合いに1回は声をかけて例会や学習会などに誘う。
- ⑩親や地域とのつながりをつくる実験講座や理科工作（科学お楽しみ広場）の開催
科学おたのしみ広場であまった材料を無駄にせず、児童館・公民館の広場で使う。
- ⑪アジアの国々（とくに韓国）との教育交流
- ⑫大学や他の自然科学関係施設・機関との連携

安田女子大学・文教大学等の学生が参加できる会を作っていく。

⑬理科教室の定期購読と普及

2018年度年間予定計画 (9月~8月)

| 月 | 行事等年間予定 | 例会場所 |
|-----|--|---------------|
| 9月 | 八幡川生物調査()日 サークル総会・例会(22日) | 観音中 |
| 10月 | 例会(20日) 合宿 | 比治山女子中高 |
| 11月 | 仁川科学の祭典(16~17日) 例会(23日) | 韓国 仁川 観音中 |
| 12月 | 例会+忘年会(22日) 科教協中国大会 in 広島(26~27日) | なぎさ中高 舟入高 |
| 1月 | 例会(26日) | 観音中 |
| 2月 | 例会(23日) 実践交流会(午後) | 観音中 |
| 3月 | 例会+打ち上げ会(16日) | 観音中 |
| 4月 | 例会(27日) | 観音中 |
| 5月 | 例会(25日) | 観音中 |
| 6月 | 例会(22日) | 観音中 |
| 7月 | 例会+打ち上げ会(20日) 科学お楽しみ広場(27日) | 観音中 五日市公民館 |
| 8月 | 科教協全国大会 in 福岡(9~11日) 公民館・児童館活動・特別例会 | 西南学院大学 |

会計にかかわって

毎年赤字経営となっている。過去の財産を使ってサークルを動かしている。

会費を確実に納入してください。儲ける方法を各個人が考えて、そしてサークルに提案してください。決まればみんなで動きましょう。

18年度は中国大会もあるので宣伝費に相当な支出が見込まれる。

書籍

過去に仕入れた書籍があります。事務局体制が変わるということで処分をしたいと考えています。差し上げるか、1冊100円で売るか、

(場所も取るので整理をしたいと思います。)